

一般社団法人市民連帯経済つながるかながわ

住所：横浜市中区南仲通4-39 石橋ビル4階 E-Mail: info@tsunagaru-kanagawa.org

TEL: 045-211-4667 FAX: 045-662-4306 開所時間: 9時30分～17時

参加団体 (3月末) ◆ 正会員 89団体 ◆ 賛助会員 12団体



◀HP



◀Instagram



◀Facebook

Contents

- さらなる取り組みにむけて
- ワーカーズ・コレクティブ紹介「キャンディ」
- つながるかながわ2025年度の活動
- つなかなおトク情報

「つながるかながわ始動」からもうすぐ2年

さらなる取り組みにむけて

若者の自立を支援しよう

上田 祐子共同代表

2025年度はW.Co協会からつながるかながわへ事業の一部（首都圏若者サポートネットワーク等）を移管し、事業セクションが始動しました。

「首都圏若者サポートネットワーク」は、児童養護施設や里親家庭など、なんらかの事情があって公的な支援のもとで育った子ども・若者たちが、社会のなかでみずからの力を発揮して生きていくことを応援する民間のネットワークです。社会的養護のもとで育った若者の自立を支援するために、働きたい若者と受入先の事業所をマッチングする体験就労プログラムを実施しています。今後も県下の市民ネットワークを活かし、社会課題の解決をめざして事業を進めます。

共にまちづくりを進めよう

篠崎 みさ子共同代表

5つの地域生協エリアで「まちづくり会議」が開催され、組合員、W.Co相互の理解がすすんでいます。「まちづくり基金」の推進や基金の助成活動は、申請団体の推薦や審査、贈呈式の開催など、組合員やW.Coが携わる中で、さらに共感や連携がつくられ、まちづくりを共に進めていることへの気づきにもつながっています。

つながるかながわの認知度を高め、自分事として地域づくりに参加する人を増やしていければと思います。

まちづくり会議の詳細はこちら



国際協同組合年*をチャンスに、

ワーカーズ・コレクティブを発展させよう

木村 満里子共同代表

2025年は2012年に続き国連が定めた2度目の「国際協同組合年」でした。これをチャンスと捉えて意識した活動をすすめてきたところ、10年ごとに定めることが国連で決議されました。まさに協同組合の活躍が期待されている証です。

私たちW.Coは、働く人の協同組合として40年以上にわたり地域に根差して実践してきた積み重ねを基に、多くの人が希望をもって働ける地域社会をめざし、今後も積極的な取り組みを行っていきます。

*国連は、持続可能な生産と消費、食料安全保障、気候変動対策、地域の人々への医療・福祉、働きがいのある人間らしい仕事の創出、すべての人が参加できる社会づくりなど、さまざまな分野で持続可能な開発目標（SDGs）に貢献している協同組合を評価し、その認知の向上と協同組合の振興のために、2025年を国際協同組合年（International Year of Cooperatives: IYC）に定めました

組織の枠を超えた多彩な企画を展開

◆1月～通年 2025国際協同組合年(IYC2025)

誰もが主役となれる持続可能な社会を築くための、新たな協力の形を示しました。

- ・シンポジウムや交流会の開催：生協、農協、労働者協同組合などが連携
- ・「連帯経済」の重要性発信：社会的排除のない地域づくり・困窮者支援・地産地消の推進

◆6月

「市民連帯経済 つながるかながわ」第2回通常総会

生活クラブ生協や県内各地のワーカーズなど多くの会員団体が集い、前年度の活動報告と新年度の事業計画を承認しました。



◆通年

労働者協同組合の普及啓発

個々の団体に寄り添った伴走支援を通じ、**非営利市民事業が法的根拠を持って持続し、地域社会に貢献し続ける**ための体制構築を力強く推進しました。

◆11月

思いや得意を仕事にする～新しい働き方のカタチ～フォーラム

神奈川県、ワーカーズコープセンター事業団、生活クラブ生協、福祉クラブ生協、W.Co協会とともに実行委員会を形成して、フォーラムを開催しました。

フォーラムでは、労協法を活用して自分たちらしい働き方を実現するための組織基盤づくりについて、事例共有と活発な議論を行いました。

労働者協同組合の概要説明
(厚生労働省労働者協同組合業務室 池田室長)



今年で4回目の開催となりました



◆10～11月

地域で働く説明会2025

地域ごとに会場を設けた説明会では、20代から60代まで、さまざまな年齢層の方にご参加いただき、15名の加入(研修中も含む)につながりました。オンライン説明会も年間で開催しました。



説明会の様子(横浜北)



屋外では天気にも恵まれました(さがみ)



求人もたくさん!

◆11月

厚労省へ介護保険改定に向けた意見書を提出



◆11月

第12回 東日本大震災・復興まつり @横浜・臨港パーク

当日は多くの来場者で賑わい、つながるかながわの会員団体のブースにも多数の方にお立ち寄りいただきました。来場者との温かな交流を通じて、**過去最高の売上となり、63,453円を寄付することができました。**



天気も味方してくれました!



スーパーボールすくいも子どもに大人気



お弁当も完売しました!

◆通年 W.Coスクール

参加型組織の継承のための会計や組織・事業運営等の講座など、**年間を通してさまざまな講座**を開催しました。

●講座例●

会計実務・監査・組織運営・社会保険・リスクマネジメント・W.Coとは(5地域)



会計実務講座の様子

◆隔月&通年 まちづくり会議 & 地域W.Co連携会議

豊かなまちづくりを推進するため、県内5つの地域に分かれて「まちづくり会議*1」と「地域W.Co連携会議*2」を開催しました。



※1 機関紙2号参照

※2 地域のワーカーズ・コレクティブがまちづくりの推進を協議する会議

福祉は高齢者介護のことだけではなく。

◆通年 参加型福祉構想の推進

自分たちの暮らし、まちを自分たちでつくる参加型福祉の基盤づくりを進めるため、相互に研修を行ったり、広報を総合化するなど、関係団体とともに活動しました。

ワーカーズ・コレクティブのご紹介

ワーカーズ・コレクティブ



少子化と言われて久しい日本ですが、こどもたちには自然の豊かさを感じながら伸び伸びと育ててほしいと願う気持ちは変わりません。こどもを育てる大人、子どももみんな幸せになってほしい。「子どもを真ん中にした社会づくり」が必要だと考えます。私たちワーカーズ・コレクティブは地域に助け合いを広げ、子育てしやすいまちづくりを進めています。

生まれてから保育園・幼稚園に入園するまで、子育ての孤立を防ぎ、地域で交流できる居場所づくりを進めています。参加、出会いの機会創出、保育士や栄養士等による地域の子育ての伴走、そして小学生の学習支援、地域との連携へ。7つの拠点を利用する子ども、親、地域、働く人の居場所として活かしていきます。

キャンディ職員 池田のぞみ

事業概要

- 保育事業** 認可保育所3園、企業主導型保育事業2園、学童1か所
- まちづくり事業** 子ども食堂、親と子のふれあい広場、離乳食講座、ベビーマッサージ等、年間通してイベント多数、居場所1か所

☆...☆...☆...☆...☆...☆ 2025年度の活動の一部を紹介します ☆...☆...☆...☆...☆...☆

居場所事業をスタート！

- 4月：貸スペース事業「アート教室」開始
- 5月：「無料学習支援ルーム」(毎週水曜日) 開始
- 11月：講演会開催「無料塾の必要性と可能性」
講師：NPO法人 八王子つばめ塾 小宮位之氏



講演会の様子



生活クラブ
まちづくり基金を活用！



無料学習支援ルーム

貸スペース事業による
アート教室「クレアール」



すきっぷドレミ園分園

「川崎市誰でも通園制度」実施中！

- 4月：リニューアル＆「認可保育所」になりました♪ (定員0-2歳児22名)
「子ども食堂」「離乳食講座」「ベビーマッサージ講座」等も開催しています。



つながるかなおトク情報

組合団体同士が学び合い 支え合う仕組みのご紹介

つながるかながわでは、会員団体がこれまでの活動の中で蓄積してきた知識・経験・人材を活かし、講師派遣や見学受け入れ等を行っています。

ワーカーズ・コレクティブの現場で培われた実践的なノウハウを直接共有できる点が、高く評価されています。

2025年度の活動

- 講演会講師** はっぴいさん、木村満里子共同代表、井上浩子専務、プランツヘルパーすこっぴ、香粉、ハートBox、キャリアなど
- 活動見学受入れ** Jam、パチャmamaなど

企画立案や人材育成、学習会の講師探しなどでお困りの際は、お気軽に事務局までご相談ください。団体同士が学び合い、支え合う仕組みとして、今後も積極的に活用を進めていきます。



詳細はこちら



つながるかながわ生活クラブまちづくり基金の2026年度募集要項が、会員専用ページにて4月1日より公開されます！つながるかながわホームページよりアクセス頂けますので是非ご覧ください。(田中入馬)

<編集・デザイン>企業組合エコ・アド